



トレンドは「より安く、より少なくて」

—今年のヒット商品番付を読む—

毎年恒例となった一年間「ヒット商品番付」。師走のトップを切ったのが「日経トレンドデイ」(平成二十年十二月号)であり、そのベスト5は次のとおりだった。

- 一位 P B (フライベーターブランド)
- 二位 激安パソコン
- 三位 Wii Fit (健康ゲーム機)
- 四位 アウトレットモール (Z E R O系飲料)
- 五位 Z E R O系飲料 (糖質ゼロなど)

実はここにも、昨今の消費や生活意識の傾向を示す二つのキーワードが秘められていた。

一つは先の「一・二・四位で分かるように、値段の「安さ」が絶大なパワーを持つてきたことだ。デザインなどの新鮮さと低価格で人気を呼んだ八位の銀座の「ファッシュョン店「H&M」も、その延長線上だろうか。もう一つは「少なさ」である。三位の任天堂の健康ゲーム機も、ぜい肉や肥満

度を少なくしたいと願う女性や中年層が夢中になり、三百万台近い大ヒットとなった。また、ビールや飲料からハムなどの食品にもカロリーや添加物などの少なさをアピールした商品が次々に登場している。さらに、二十位には禁煙のための「ニコチンパッチ」がランクイン。これも、たばこの健康被害を少なくしたい、との思いが生んだ商品だろう。

◆ そうですね、スーパーなどの商店にも、安い、少ないをコンセプトにした意外な人気商品が登場してきた。一つは「わけあり」。傷がついたり形状やサイズが不ぞろいなために格安で売られる野菜や果物類だ。もう一つが、分量の「小分け」。これも、少人数の家庭や不

況で家計節約を目指す人の増加を背景にした、安く、少なくての商品群である。

ちなみに、先の番付で三十位に入ったのが、何と「富士登山」だった。推挙の理由は、昭和五十六年以來で最多の二十四万人の登山客を得たことだが、こちらは「少なさ」と逆のような？

しかし、同誌のコメントによれば人気の秘密は「安・近・短(安く、近く、短時間で行ける)」だとか。謎を解く鍵は、やはり値段の安さと時間の少なさにあったわけだ。

さらなる不況も懸念される平成二十一年。この傾向が広まる可能性だけは「高くて多い」かもしれない……。

N M L野村オフィス

代表 野村 正樹

会議所12月の動き

- 1日(月) ・正副会頭会議
・下越8会議所指導員研究会先進地視察(～2日)
- 3日(水) ・新発田市勤労者福祉サービスセンター自立化検討会議
- 4日(木) ・税理士との懇談会
・社会福祉法人二王子会理事会
- 5日(金) ・雇用対策推進会議
・雇用保険適用促進検討委員会
- 8日(月) ・青色申告会職員研修会
- 10日(水) ・出口駐屯地司令送別会
- 11日(木) ・藤しばたショッピングセンター店舗運営管理協議会
・新発田市市民活動支援会議
- 12日(金) ・街づくり委員会
- 15日(月) ・新発田商工会議所青年部臨時総会
- 17日(水) ・日商委員会(～18日)
- 19日(金) ・なじょもトイレマップ作成実行委員会
- 24日(水) ・城下町しばたスポーツフェスタ実行委員会会計監査

平成20年度

2級・3級販売士資格更新講習会

- 開催日時 平成21年2月25日(水)
2級 9:30～15:30
3級 9:30～12:30
- 講習会場 新発田商工会議所
- 受講料 2級 7,100円 3級 6,080円
- 申込期間 1月6日(火)～2月6日(金)

※更新年度に当たる方(平成15年度に資格更新を行なった方、または同年度に2級か3級資格を取得された方)は受講の上、更新の手続きをして下さい。

問い合わせ先 新発田商工会議所
☎22-2757